



古中だより「坂道」

〈くめざす生徒像〉

(知) 自ら学ぶ生徒
(徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒
(体) 心身ともに健康な生徒

令和4年度 第29号

3月23日 発行

古殿町立古殿中学校
校長 上野 康生

～1年間の課程を修了、進級に向けての心構えを！～

進級
おめでとう

203日間の授業日を終え、本日修了式が行われました。1年間、生徒が大きな事故や怪我なく過ごすことができたことを何より嬉しく思います。

いよいよ、4月からは1年生は中堅学年に、そして2年生は最上級生になり、学校を引っ張っていく立場になります。また、4月6日に入学する新入生に良き手本を示す存在となることにも大きな期待を寄せています。

そこで、校長式辞では1年間の振り返りや進級に向けた心構えとして以下のような話をしました。本日、お子様に渡しました通知表と併せて、お子様と一緒に1年間の振り返りをしていただければ幸いです。

＜1年間の振り返り＞

- 1年生は入学当初、少し元気が足りないように感じていましたが、最近では授業を参観に行ったときなど、**元気にあいさつをする人が増え、とても素晴らしい**と感じています。また、1学期や2学期の前半は勉強に対して前向きになれない人が多いように感じましたが、2学期後半からは計算コンテストやスプリングコンテスト、そして学年末テストなどに向けて**本気で勉強を頑張る人が増えました**。できることや分かることが増えると、勉強が今以上に楽しく感じると思います。春休み中もしっかりと復習に励んでほしいと思います。
- 2年生はこの1年間でさらに大きく成長しました。特に、授業では**積極的に発言したり質問したりするなど、活気のある姿が多く見られる**ことが素晴らしいですし、先生方もそういった姿勢を高く評価しています。また、**明るく笑顔で生活している姿が多く見られ、元気でさわやかなあいさつができる**人が増えました。一方、楽しく生活するのは良いことなのですが、時と場を考えた行動ができず、先生方に指導される機会があったことも事実です。その場の雰囲気にならなれず、**やってよいことと悪いことをしっかりと判断して生活することが今後の課題**です。



＜進級に向けた心構え＞

- **嫌なことや辛いことから簡単には逃げないことが大切です**。学校生活を送っていれば、勉強のこと、部活動のこと、友だちのこと、先生のことなど、様々な悩みや不安はあって当然です。そして、そのような**悩みは決して一人で抱え込まず、家族や友だち、先生方に相談することが大切です**。しかし、中学生ということを考えると、もう少し**我慢強く努力したり、挑戦したりして自分の力で解決しなければならない**ことがあるように思います。これから何十年という人生を歩む中で、目の前の壁から逃げてばかりでは豊かな人生を送ることはできません。**ちょっと嫌なことや辛いことにも立ち向かい、時には周囲に支えてもらいながらも粘り強く自分の力で解決しようとする**ことが大切です。一人一人の努力、そして周りの人と励まし合いながら、目の前にある壁をよじ登る**たくましい集団に成長することを心から願っています**。
- 何度も話していることですが、**あいさつ**のことです。1年生も2年生も元気なあいさつができる人が多くなっていることは確かですが、**もっともっと素晴らしいあいさつ**ができるはずですが、たかがあいさつと思う人もいるかも知れませんが、**あいさつ一つで皆さんのこれからの人生で初めて出会う人と仲良くなれたり、信頼関係を築けたり**することがあるのです。また、あいさつは古中にとって大切な**伝統**であり、今回の卒業生をはじめ、これまでの先輩方がずっと大切に受け継ぎ、引き継いできたものです。地域の中でも「あいさつの古中」として褒めていただいたり期待されたりしています。卒業式の練習で身に付けた礼法を日頃の生活でも実践し、「あいさつの古中」の名に恥じない立派なあいさつを心がけ、新入生にも皆さんが行動で手本を示してほしいと思います。



～1年間ありがとうございました～

令和4年度も様々な場面で新型コロナウイルス感染症の影響を受けた1年間でした。特に、感染拡大防止のため、多くの生徒に出席停止の措置をとらなければならなかったことが校長として最も心を痛めたことです。そのような中で、生徒が楽しみにしていた行事等については様々な変更や工夫を加えながら、概ね実施できたことを嬉しく思います。これも、保護者の皆様のご理解とご協力があったからこそだと考えています。本当にありがとうございました。

また、今年度も不定期ではありますが、『古中だより「坂道」』を29回発行し、学校の様子や校長としての考えをお伝えしてきました。昨年度より発行回数数が2回減ってしまい、もっともっと生徒の活躍をお伝えしなければならなかったと反省しております。何卒ご容赦いただきたく存じます。

来たる令和5年度も、教職員一同、生徒の更なる成長をめざして精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。

